

115.4, 115.7, 125.3, 130.0, 144.1, 159.6, 167.9.

β -Sitosterol β -D-glucopyranoside Colorless powder (MeOH-CHCl₃), mp > 300°; EI-MS *m/z*: 414, 396, 381, 354, 329, 303, 288, 275, 255, 213, 177, 161, 147, 145, 135, 133, 121, 119, 109, 107, 105, 95, 93, 81, 69, 57, 55, 43; ¹H NMR (in pyridine-d₅) δ (ppm): 0.67 (3H, s, CH₃), 0.87 (3H, d, J=5.61 Hz, CH₃), 0.90 (3H, d, J=5.61 Hz, CH₃), 0.91 (3H, d, J=5.61 Hz, CH₃), 0.95 (3H, s, CH₃), 1.00 (3H, d, J=6.59 Hz, CH₃), ca. 4.00 (1H, m, CH), 5.08 (1H, d, J=7.59 Hz, anomeric-H), 5.36 (1H, br.s, =CH); ¹³C NMR (in pyridine-d₅) δ (ppm): (β -sitosterol) 12.0, 12.2, 19.0, 19.2, 19.5, 20.0, 21.3, 23.4, 24.5, 26.5, 28.6, 29.5, 30.3, 32.1, 32.2, 34.3, 36.4, 37.0, 37.4, 37.5, 40.0, 42.4, 46.1, 50.3, 56.3, 56.9, 78.5, 122.0, 141.0, (β -D-

glucopyranoside): 62.9, 71.8, 75.4, 78.1, 78.7, 102.6.

References

- He W. Z. 1987. "The Herbs" published by Harvest Farm Magazine. pp. 59-63. Taiwan.
Sun Z. C. 1987. "The Herbs" published by Harvest Farm Magazine. pp. 57-58. Taipei. Taiwan.

金線蓮は、肺結核、高血圧、腹痛、発熱、腫瘍、急性・慢性の肝臓病および蛇傷等に使用される、台湾で最も貴重で高価な生薬の一つである。金線蓮は、ラン科 (Orchidaceae) の *Anoectochilus formosanus* Hay. (キバナシュスラン、台湾金線蓮) と *A. koshunensis* Hay. (コウシュンシュスラン、高雄金線蓮) を基原とする。今回4種の化合物を金線蓮より単離した。

(^a国立衛生試験所, ^b明治薬科大学)

新刊

Davies R. A. (ed.) : **Index Kewensis, Supplement XIX** (1986-1990). 354pp. 1991. Clarendon Press, Oxford. £95.

Index Kewensis の supplement XIX が出版された。今回の supplement では1986-1990の間に新記載及び新組み替えされた分類群が扱われている。Index Kewensis は植物分類学者にとって最も重要な文献の一つであり、改めて紹介するまでもない。コンピューターの普及した現在では、このようなデータベースを作ることはさほど困難ではないと思われるが、100年程前からずっと出版し続けてきたということには敬意を表するものである。植物分類学の分野だけではなく他の関連分野でも大いに利用されることを期待するものである。(寺林 進)

Roth I. : **Handbuch der Pflanzenanatomie XIV**. Leaf structure of a Venezuelan cloud forest in relation to the microclimate. 244pp. 1990. Gebrüder Borntraeger, Berlin. DM148.

本書は植物形態学の教科書として有名な "Han-

dbuch der Pflanzenanatomie" のシリーズの1つとして出版されたものである。ベネズエラ国立公園 "Henri Pittier" の雲霧林は、南米では最もよく知られた森林の一つである。常時霧がかかり、霧による散乱光が満ちているという特殊な環境に適応するため、植物たちは特徴的な構造を示しているという。本書ではまず、雲霧林の層構造の説明から入り、80種の植物について層ごとに葉の大きさ、形、気孔の数、内部構造等を丹念に調べている。図や写真が多く内容の理解の助けとなっている。最終的には気候と葉の形態の關係に議論を進めている。葉の形のもつ意味をあらためて考えさせてくれる内容のある本である。(寺林 進)

菊地慶四郎・須藤志成幸 : **永遠の尾瀬——自然とその保護** 236pp. 1991年10月。上毛新聞社、前橋市古市町 1-50-21。¥1,200 (税込)。

特別天然記念物に指定されている国立公園尾瀬は訪れる人が年々多くなると共に荒れ方がひどく、自然保護が叫ばれるようになってきた。尾瀬の湿原回復や登山道の荒れの問題などを永年調査研究